

2025年度 SSI（総探）

【第18回】 研究倫理研修会

～責任ある探究のための倫理規範～



2025年11月13日（木）

研究活動の基盤は社会との信頼関係

研究は、知りたいことを探し、それを再び探索(re-search)する行為

研究倫理の核心

研究の公正性と
社会的信頼の担保

研究者自身の
キャリアと成果の保護

今回のガイダンスで学ぶこと

1. 研究における誠実性(integrity)と不正行為
2. 責任ある研究遂行 (RCR: Responsible Conduct of Research)
3. 再現可能で質の高い研究成果を構築する方法

断じて許されない特定不正行為 (FFP)

「知らなかった」「うっかりミスだった」という弁明は一切認められない。

不正行為	定義
ねつ造 Fabrication	存在しないデータ、研究結果等を創作する行為 例: 実施していない実験のデータを作成する。
改ざん Falsification	研究資料・結果等を真正でないものに加工する行為 例: 都合の良いデータのみを選別して使用する。
盗用 Plagiarism	他者のアイデア、成果等を適切な表示なく流用する行為 例: 出典を示さずに文章をコピー＆ペーストする。

責任ある研究遂行①：計画から実施まで

【計画段階:Research Design】 研究の設計図を描く

- 先行研究の網羅的調査 → 研究の学術的な位置づけと独創性の明確化
- 研究目的とリサーチクエスションの設定 → 検証可能な問いの具体化
- 研究計画書の作成 → 再現性を担保する設計図
- 指導者・専門家によるレビュー → 計画の妥当性と倫理的課題の検証

【実施段階:Data Management】 誠実なデータの収集と記録

- 正確な記録 → 全てのプロセスと結果を「研究ノート」に記載
- 客観的な分析 → 先入観を排し、科学的・統計的に適切な手法を用いる

責任ある研究遂行②：公開段階

【公開段階：Authorship & Publication】 成果の社会への還元

➤ 結果の厳密な表現

データが示す客観的な事実に限定し、過剰な解釈や断定的な表現を避ける。

➤ 再現可能性の担保

第三者が追試できるよう、研究手法、使用した機器、試薬、データ解析法などを詳細に記述する。

➤ オーサーシップの適切な決定

- 共著者: 研究への実質的な知的貢献を果たした者
- 謝辞 (Acknowledgement): 技術的支援や助言に対する謝意

研究ノートの3つの役割

1. 誠実さの客観的証拠

いつ、何を、どのように行ったかの記録

2. 研究の再現性の担保

他者が同じ条件で追試できるための情報源

3. 新たな発見の源泉

予期しない結果からのセレンディピティ (Serendipity)

成功も失敗も、全てその都度正直に記録する

特別に配慮を要する研究計画

【人を対象とする研究】

インフォームド・コンセント： 目的・方法・リスク等の十分な説明と
自由意思に基づく同意

個人情報保護： データの匿名化など、プライバシー保護措置の徹底

【動物を対象とする研究】 動物福祉(アニマルウェルフェア)3Rの原則

代替 Replace

動物を使わない方法を検討

削減 Reduce

使用数を最小限にする

苦痛軽減 Refine

苦痛を最小限に抑える

【安全管理を要する研究】

危険物・装置、フィールドワークは指導者の監督下で安全管理の徹底を
最優先して実施する。

★Work★ 話し合ってみましょう！

次から1つを選択して、近くの席の人と意見交換をしてみましょう。

1. 不正行為は社会にどのような影響を与えるでしょうか。
(具体例を挙げながら話してみましょう！)
2. 「誠実な研究活動」とはどのような研究活動のことでしょうか。
(「不正を行わない」だけが誠実ですか？)
3. 研究計画の立案において、注意すべきことは何ですか。
(研究の最初のステップとしての意義は？)
4. 研究成果を公開する際の注意すべきことは何ですか。
(適切な公開方法とは？)

研究コミュニティにおける役割と責任

役割	主な責任
研究実施者 (生徒)	● 研究の構想から成果公表まで、全プロセスに対する最終的な責任を有する。 ● 研究不正を行わず、誠実性を常に追求する。
研究指導者 (教員等)	● 研究活動全般を監督・指導し、研究実施者の安全を確保する。 ● 倫理教育を実践し、研究プロセスが規範を逸脱していないか監督する。 ● 研究の科学的妥当性と倫理性を担保する。 (専門家としての役割を兼ねる場合)

まとめ - 「誠実な探究」のために

研究の誠実さ(integrity)こそが、科学の進歩と社会からの信頼の礎

- ✓ 特定不正行為(ねつ造・改ざん・盗用)は絶対に行わない。
- ✓ 研究プロセスの全段階で誠実に行動する。
- ✓ 研究ノートにすべてを正直に記録する。
- ✓ 困ったときは指導者に相談する。

あなたは一人の責任ある「**研究者**」です。

どのような道に進んでも、誠実な探究の視点が、
将来の自分自身を支える力になります。

参考文献

- [1] 岡本尚也（2021）「課題研究メソッド 2nd Editon」株式会社 振興出版社啓林館
- [2] 一般財団法人公正研究推進協会(APRIN) （2022）
「中等教育における研究倫理：基礎編」
https://www.aprin.or.jp/e-learning/rse/rse_p0
2025/10/30 閲覧
- [3] 一般財団法人公正研究推進協会(APRIN) 中等教育系分科会（2024）
「中等教育の研究倫探究指導のためのハンドブック」
https://www.aprin.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/RSE_handbook.pdf
2025/10/30 閲覧
- [4] 日本学術振興会（2025）
「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－【テキスト版】」
https://www.aprin.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/RSE_handbook.pdf
2025/10/30 閲覧